



近鉄特急初代ビスタカー10000系(近畿日本鉄道提供)



# 西条ゆかりの偉人たちの

「新幹線の父」と称される  
 「十河信二」、近鉄・中興の祖  
 と呼ばれる佐伯勇、教育に  
 生涯を捧げた近藤篤山。  
 西条市ゆかりの偉人たち  
 を紹介します。

四国鉄道文化館北館



## 近畿日本鉄道の中興の祖 佐伯勇

Isamu Saeki

実業家・佐伯勇は、明治36年に西条市丹原町で生まれました。東京帝国大学(現東京大学)法学部を卒業後、近畿日本鉄道の前身である大阪電気軌道に入社。昭和24年に同社がプロ野球球団(後の近鉄バファローズ)を設立した際には、初代オーナーに就任しました。また本社の七代目社長にも就任し、新型車両の導入や輸送力増強、近鉄グループの拡充などに力を尽くし、その活躍ぶりから「近鉄・中興の祖」と呼ばれています。市内にはゆかりの品々を展示している西条市佐伯記念館・郷土資料館があります。



## 新幹線の生みの親

## 十河信二

Shinji Sogo



第4代国鉄総裁を務め、新幹線構想を実現させた十河信二は、「新幹線の父」と呼ばれる人物です。彼は旧制西条中学の卒業生であり、西条市長を務めるなど西条市とは非常に深い縁で結ばれており、西条市の名誉市民にもなっています。世界に前例のない夢の超特急・新幹線の実現に寄与した功績とともに、「雷オヤジ」の愛称で親しまれたなど、その人となりも非常に魅力的であったといわれています。JR伊予西条駅に隣接する「四国鉄道文化館」には、彼が実現させた「0系新幹線電車」をはじめとする鉄道車両が展示され、「十河信二記念館」には直筆の書や愛用品などが展示されています。



## 教育で藩政再建に貢献 近藤篤山

Tokuzan Kondo

享保17年(1732年)の享保の飢饉などで、財政が逼迫していた伊予小松藩。奉行の竹鼻正脩はその建て直し策として文武奨励に取り組むことを決めました。そこで招いたのが、明和3年(1766年)に宇摩郡小林村(現・四国中央市土居町)に生まれた近藤篤山です。篤山は生家の没落などの困難にも負けず、大阪の尾藤三洲のもとでひたすら学問を修めました。伊予小松藩の儒官となった篤山は、藩校「養正館」を開校。以降、40年以上にわたって藩の教育に力を尽くしました。また夜は自宅の私塾で、藩内外の武士や庶民の教育にあたりました。現在、篤山の屋敷は「近藤篤山旧邸」として公開されています。

There are many prominent historical figures associated with the city of Saijo. Shinji Sogo served as the fourth president of the Japanese National Railways and made the vision of creating the bullet train a reality. Isamu Saeki joined Osaka Electric Tramway, the predecessor of the Kinki Nippon Railway Co., Ltd., and went on to achieve great success. Tokuzan Kondo was a Confucianist in the Edo Period who dedicated his life to education. Saijo City has museums that showcase the achievements of such forefathers, where visitors are invited to learn more about how they lived.



四国鉄道文化館南館